



168

西宮出身、元スーパーキッズ・オーケストラの北村陽が
フィンランドの俊英・インキネンの指揮で芸文に凱旋！



指揮／

ピエタリ・インキネン

Pietari Inkinen, Conductor

©Takayuki Yoshida

管弦楽／

兵庫芸術文化センター管弦楽団

Hyogo Performing Arts Center Orchestra



チェロ／北村 陽

Yo Kitamura, Cello

シベリウス：

交響詩「ポヒョラの娘」op.49

Jean Sibelius: Pohjola's Daughter, op.49

プロコフィエフ：

交響的協奏曲 ホ短調 op.125

Sergei Prokofiev: Symphony-Concerto in E minor, op.125

シベリウス：

交響曲 第2番 ニ長調 op.43

Jean Sibelius: Symphony No.2 in D major, op.43

インキネン プロコフィエフ&シベリウス



兵庫芸術文化センター管弦楽団 第168回定期演奏会

2026 3/13(金)・14(土)・15(日) 開演 3:00PM
(開場 2:15PM)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口ログ／JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
A席5,000円 B席4,000円 C席2,500円 D席1,000円(全席指定／税込)

ご予約
お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

10:00AM～5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

芸術文化センター会員先行予約受付開始 12/20(土)

一般発売

インターネット予約 ■芸術文化センター <https://www.gcenter-hyogo.jp>
■チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ■ローソンチケット <https://l-tike.com>

■イープラス <https://eplus.jp>

直接購入

芸術文化センター2階総合カウンター
[12/23(火)より、残席がある場合のみ]

12/21(日)

※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

◎主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



兵庫県立
芸術文化センター

兵庫芸術文化センター管弦楽団 第168回定期演奏会



世界各地で指揮者として活躍を続けるフィンランド生まれのピエタリ・インキネンが、4年ぶりに再登場！今回選んだのは、祖国が誇る作曲家・シベリウスと1900年代ロシアの大作曲家・プロコフィエフ。

「ポヒョラの娘」では、フィンランドの民族叙事詩「カレワラ」の一編が描かれています。「交響曲第2番」は、フィンランドがロシアの圧制下にあった当時、国民の愛国的な心情を刺激しました。インキネンが故郷の特別な輝かしい色彩の世界にいらなってくれることでしょう。

プロコフィエフの「交響的協奏曲」でソリストを務めるのは、2004年兵庫県生まれ、スーパーキッズ・オーケストラ出身の北村陽。21歳にして数多くの国際コンクールでの優勝を果たし、持ち前の豊かな音楽性で世界からも注目を浴びています。フィンランドの風と兵庫が生んだ期待の若手音楽家が作る音楽をご堪能ください。



指揮 ピエタリ・インキネン Pietari Inkinen, Conductor

スケールの大きな音楽的構想力と卓越した技術を兼ね備え、同世代を代表する存在として国際的に高く評価されている。ザールブリュッケン・カイザースラウテルンドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者を2024/25シーズンまで務めたほか、日本フィルハーモニー交響楽団、ブラハ交響楽団、KBS交響楽団（韓国）などの首席指揮者、ニュージーランド交響楽団の音楽監督を歴任。このほか、コンサートヘボウ管、バイエルン放響、ゲヴァントハウス管、クリーヴランド管など、世界有数のオーケストラを指揮してきた。ワーグナー作品はインキネンの芸術の中核を成し、2023年にはバイロイト音楽祭で《ニーベルングの指環》新制作を指揮。また、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ドレスデンのゼンパー・オーパーなどに客演し、高い評価を得ている。ヴァイオリニストとしても優れており、ケルン音楽大学でザハール・ブロンに師事。後にヘルシンキのシベリウス・アカデミーで指揮を学んだ。



チェロ 北村 陽 Yo Kitamura, Cello

2023～24年、ブラームス国際コンクール、エネスク国際コンクール、カザルス国際賞と3つの国際コンクールで優勝し、歴史あるイギリスの弦楽器専門誌『The Strad』で「卓越した音楽的才能」と評され、注目を集めている。日本音楽コンクールでは、第1位と増沢賞をはじめ5つの賞を受賞。9歳でオーケストラと初共演し、以降国内外多数のオーケストラと共演。2020年には、Jシュテッケルの代役として、井上道義指揮、読売日本交響楽団と共演し好評を博す。出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞、アリオン音楽賞、坂井時忠音楽賞など立て続けに受賞。2012～13年スーパーキッズ・オーケストラ在籍。2025年、庄司紗矢香氏率いる室内楽グループ「新ダヴィッド同盟」に新メンバーとして加入。現在、ベルリン芸術大学にてJ.Pマインツ、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースにて特待生として堤剛各氏に師事。これまでに山崎伸子、室内楽を磯村和英各氏に師事。第52回江副記念リクルート財団、ローム ミュージック ファンデーション奨学生。使用楽器は上野製薬株式会社より貸与された1668年製カッシーニ。

兵庫芸術文化センター管弦楽団 Hyogo Performing Arts Center Orchestra

2005年9月に設立。世界中でオーディションを行い、世界各地から若手演奏家を集め優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ、世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務め、定期演奏会をはじめ、名曲、ファミリー、ポップス等のコンサートや室内楽シリーズ、県内中学1年生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」、毎年夏の芸術監督プロデュース・オペラでの演奏など、多彩な活動を展開している。2006年関西元気文化圏賞ニューパワー賞、2011年神戸新聞平和賞、2017年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(パック)オーケストラ。 [https:// hpac-orc.jp](https://hpac-orc.jp)



PAC公式SNS



@HPACorchestra



@hpac_orchestra



@hpac_orchestra



YouTube



先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

